

## 日野中央だより～6月号～



6月も半ばを過ぎ、梅雨らしい季節となりました。マスク、ソーシャルディスタンスが必要な今年の夏が目前です。熱中症と隣り合わせとなる「夏」をどう過ごすのか。一つひとつ考え、その時々により良い方法を模索しながら過ごしていきたいと思います。

学校再開後3週間が過ぎる本校の生徒たち。3年生は、現場実習目前の学習に真剣な表情で向き合っています。2年生は、先輩としての自覚が芽生え始め、1年生に声を掛ける場面が見られるようになりました。1年生は、クラスの仲間と打ち解け始め、いよいよ日野中央での学びが本格的なスタートに備え、準備が始まりました。ここまで、多くの方のご協力を得、そして、何よりも生徒たち一人ひとりが今と向き合い、焦ることなく着実に積み上げてきたからこそその姿だと思っています。これからも着実な学びを重ねていきたいと思っています。

### 今年度の学校行事（こうよう祭）について

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな行事を中止あるいは延期としております。9月に例年行ってきました「こうよう祭」は、現在、12月ごろへ延期の方向で検討をしております。今後、社会情勢等を確認しながら検討を重ね、決定し次第、本ホームページでお知らせいたします。



### 今年度の取組：神奈川県立南陵高等学校との交流及び共同学習



神奈川県立横浜南陵高校と隣接する本校は、同じ世代の生徒が互いにその学びを深めるためには素晴らしい立地です。これまで部活動での交流、行事での交流等を実施してきました。今年度は、授業の中で交流及び共同学習を実施する等、互いの学びをさらに進めていきたいと考えています。

横浜南陵高等学校とは・・・平成11年の県立高校改革推進計画の【前期再編整備計画】において、横浜日野高等学校と野庭高等学校の2校の再編統合により、平成15年4月、「新しいタイプの高校 - 専門コース設置校」の一つである、全日制課程・普通科の「横浜南陵高等学校」として開校しました。その後、平成29年度入学生から「健康福祉コース」の募集を停止し、その成果を学校全体の特色とする「全日制的課程 普通科」の高校へと改編しました。

健康福祉コースを核とした特色ある教育活動を実践するとともに、地域との交流・連携を重視した地域に根ざした学校づくりに取り組み、今後はさらに、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるため、生徒の社会と関わる力を一層高めるなど、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実と、これまで健康福祉コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする改編に取り組む学校です。

互いの学校の特色を活かして、同年代の生徒が多様で深い、その後の一人ひとりのキャリアに繋がる学びを展開していけると今、ワクワクしながら互いの担当者が準備を進めているところです。その様子をまたお伝えしていきます。